

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 28 日 (2006.12.28)

【公表番号】特表 2005-503712(P2005-503712A)

【公表日】平成 17 年 2 月 3 日 (2005.2.3)

【年通号数】公開・登録公報 2005-005

【出願番号】特願 2003-529659(P2003-529659)

【国際特許分類】

**H 0 4 Q 7/38 (2006.01)**

**H 0 4 B 7/26 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 9 M

H 0 4 B 7/26 C

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 2】

情報セグメントのセットを周期的に伝送することを含む通信を、受信し処理する方法においては、情報セグメントセットの各情報セグメントが有効か否かを識別するため、このような情報セグメントセットについて第 1 回目の伝送が行われる。この第 1 回目の伝送で伝送された情報セグメントセットは、受信され処理される。そして、当該情報セグメントセットの情報セグメントのうち有効なセグメントが、ストアされる。この第 1 回目に伝送された情報セグメントセットの情報セグメントが全て有効でなく、その結果、ストアされない場合には、その後が続いて、情報セグメントセットが伝送される。その後が続いて伝送された情報セグメントの情報セグメントのうち以前有効でなくその結果ストアされなかった情報セグメントに対応する情報セグメントのみが、これら受信された情報セグメントについて、有効か否かが識別するために、受信および処理がされる。そして、有効な情報セグメントがストアされる。以後、当該情報セグメントセットの全ての情報セグメントが有効と識別されストアされるまで、情報セグメントのセットのその後続く伝送が、繰り返し受信される。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 7】

ひとたび U E - B C F E がこのような判断を行うと、正しい T B は U E - B C F E によりストアされ (ステップ 8 2)、紛失した T B、またはエラーのある T B は、廃棄される (ステップ 8 3)。ステップ 8 3 は、U E - B C F E を処理する前に、L 1 または L 2 のいずれかにより同様に実行されるから、このことに留意されたい。そして、R R C 2 8 は、エラーがあるか紛失するかした全ての T B の次の S F N を、次の R R C - S D U の伝送について計算する (ステップ 8 4)。図 7 の例においては、S F N の次のオカランス (本例では、7 4) を決定するため、U E - B C F E は、エラーのあった T B (S F N 1 0) を、繰り返し期間すなわち 6 4 に加算することになる。幾つかの T B にエラーがある

こともあるが、このような場合には、エラーのあったＴＢのそれぞれのＳＦＮが、その後のＲＲＣ－ＳＤＵの伝送について、計算される。ひとたびこれらＳＦＮが決定されると、ＲＲＣ２８は、決定されたＳＦＮのみを受信しデコードすることを、Ｌ１に通知する。この例では、再受信時には、ＳＦＮ７４に対応する１つのＴＢのみが識別される。ひとたびＬ１がこの計算されたＳＦＮのあるＴＢを受信すると、Ｌ１は、ＲＲＣ２８から要求があった特定のＳＦＮを有するＴＢとＳＦＮとＣＲＣとを、ＲＲＣ２８にホワーディングする（ステップ８５）。再伝送され受信されたＴＢのセットにエラーが検出されず、かつ当該ＲＲＣ－ＳＤＵからのＴＢを紛失していない場合には、ＵＥ－ＢＣＦＥは、所定の場所に、これら正しいＴＢを他のＴＢとともにストアし（ステップ８２）、ＲＲＣ－ＳＤＵをデコードする（ステップ８６）。受信されたＲＲＣ－ＳＤＵのＴＢに依然としてＣＲＣエラーがある場合には、ＲＲＣ２８はこのようなＳＦＮを判断し、上述した処理を繰り返す（ステップ８４）。以後、当該ＲＲＣ－ＳＤＵに関連付けされたＴＢのセット一式がＵＥ－ＢＣＦＥによりストアされ、ＲＲＣ２８により処理されるまで、この処理を継続する（ステップ８６）。

【誤訳訂正３】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】００３０

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【００３０】

さらに、本発明によれば、ＵＥ１８がシステム情報をより効率的に受信することができるので、スケジューリングレート（すなわち、再送の周期）を減少させることが可能である。その結果、限りのあるＢＣＣＨの物理的資源の効率が向上し利用率が高くなる。